

「日露戦争と情報」関係年表

文久 2	1862	9. 3	英領事館員アーネスト・サトウ来日	明治 37	1904	1. 12	児玉、明石に露国内諜報網構築指示
文久 3	1867	7. 25	高橋是清、仙台藩留学生として渡米			2. 3	「旅順の露艦隊出港」の緊急電報
4	1868	1. 3	鳥羽伏見の戦い。戊辰戦争始まる			2. 4	御前会議で日露開戦決まる◆伊藤博文、金子堅太郎に渡米工作指示
明治 2	1869	12. 14	大学南校(歎の謝)設立			2. 6	露に国交断絶通告
4	1871	11. 12	岩倉使節団、横浜を出発し欧米へ◆金子堅太郎も福岡藩留学生として渡米			2. 8	日本駆逐艦隊、旅順口を夜襲
6	1873	—	露、ウラジオストック軍港建設			2. 9	仁川沖海戦
15	1882	3. 1	福沢諭吉、時事新報を創刊			2. 10	露に宣戦布告。日露戦争始まる
22	1889	2. 11	帝国憲法発布◆森有礼、暗殺される			2. 12	井上馨、高橋に外債募集を指示
		10. 31	高橋、ペルーの銀山開発代表に			2. 19	明石、ストックホルムに本拠を移す
		—	金子渡米、ルーズベルトと知り合う			2. 22	シリヤクス(フィンランド輪船)、明石を訪ねて来て協力を約束
23	1890	6. 5	高橋、銀山開発に失敗し帰国			2. 24	金子堅太郎、高橋是清渡米
24	1891	5. 11	大津事件。露皇太子襲われ軽傷			4. 23	ヤコブ・シフ、高橋に外債協力申し出
		5. 30	露、シベリア鉄道起工			5. 1	第一軍、鴨緑江で露軍を破る
25	1892	2. 11	駐独武官福島安正中佐、ベルリンを出発、シベリアを横断し帰国の途へ			5. 11	外債、ロンドン、ニューヨークで発売
		6. 1	高橋、日銀建築主任として日銀入り			6. 6	ルーズベルト米大統領、金子に講和斡旋の意思があることを伝える
26	1893	6. 12	福島、ウラジオストックに帰着			9. 4	日本軍、遼陽を占領
		12. —	時事新報、ロイターと記事独占契約			10. 1	パリでシリヤクスを議長に、帝政ロシア打倒の合同会議
27	1884	8. 1	清に宣戦布告。日清戦争始まる				
28	1895	2. 12	北洋艦隊降伏。丁汝昌提督服毒自殺				
		4. 17	下関で日清講和条約調印	38	1905	1. 1	旅順陥落
		4. 23	露独仏、遼東半島返還要求。三国干涉			1. 22	ペテルブルクで「血の日曜日」事件
		5. 4	閣議、遼東半島の全面放棄決定			2. 12	明石、参謀本部に45万円の武装蜂起資金を請求
29	1896	6. 3	露清密約。露は東清鉄道敷設権獲得			3. 10	奉天占領
30	1897	4. —	花田仲之助大尉、西本願寺の布教僧に化けウラジオストック潜入			5. 27	日本海海戦
31	1898	2. 11	高橋(樞正金銀行副頭取)、欧米へ出張			6. 9	ル大統領、日露両国に講和会議提案
		3. 27	露、旅順・大連租借			6. 27	黒海の戦艦ポチョムキンで水兵反乱
		11. 8	山本権兵衛、海軍大臣に就任			9. 5	ポーツマスで日露講和条約調印◆日比谷焼き打ち事件
32	1899	8. 25	石光真清大尉、ウラジオストックへ			9. 6	英貨物船、フィンランド沖で座礁。船底から小銃、弾薬。新聞で騒がれる
33	1900	6. 20	義和団、北京の各国公使館包囲			12. 28	明石、横浜に帰国
		8. 14	各国連合軍、北京総攻撃。公使館解放			9. 18	関東軍満鉄爆破。満州事変始まる
		11. 9	露、東清鉄道南満州支線敷設権獲得	昭和 6	1931	2. 26	二・二六事件。高橋蔵相射殺される
34	1901	6. 2	桂太郎内閣発足			7. 7	盧溝橋事件。支那事変始まる
		9. 21	小村寿太郎、外相に就任			9. 1	独軍ポーランド侵攻。第二次大戦
		10. —	石光、ハルビンに写真館開業			9. 25	米、日本の外交暗号を解読
		11. 3	東清鉄道南満州支線が仮開通			9. 27	日独伊三国同盟締結
35	1902	1. 30	日英同盟調印			11. 26	米ハル國務長官「ハル・ノート」提示
		8. —	明石元二郎、駐露公使館付武官			12. 8	真珠湾攻撃。太平洋戦争始まる
36	1903	4. 8	露軍、撤兵期限守らず満州に居座る			6. 5	ミッドウェー海戦。主力空母4隻失う
		5. —	露軍、鴨緑江の岩竜浦に陣地構築			7. 18	サイパン陥落で東条英機内閣総辞職
		7. 1	東清鉄道正式に開通			7. 22	小磯内閣成立
		8. 12	露、旅順に極東総督府設置			8. 15	敗戦
		10. 12	児玉源太郎、参謀本部次長に就任				
		10. 19	常備艦隊司令長官に東郷平八郎				